

神福介第 3708 号

令和 4 年 12 月 20 日

神戸市シルバーサービス事業者連絡会 御中

神戸市福祉局介護保険課

事業者アンケート調査結果への回答

神戸市シルバーサービス事業者連絡会のみなさま方におかれましては、平素より、福祉・介護の第一線で、日々研鑽を積み、高齢者福祉及び介護事業の健全な発展と市民の福祉の増進に多大なるご尽力をいただいておりますこと、また、長期間に渡って新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組んでいただいていることに深く敬意を表するとともに、厚くお礼を申し上げます。

令和 4 年 11 月に実施された「事業所の運営に関わる緊急アンケート」で頂いた内容につきまして、別添のとおり回答いたします。

1 運営状況と物価高騰による経営への影響について

(回答)

アンケート調査の結果より、長期化するコロナ禍により運営状況に大きな影響が出ていることが改めて確認できました。頂いた内容を踏まえながら、今後も引き続き、国・県・市で分担しながらコロナ対策事業や支援策を進めてまいります。

また、コロナ禍における原油価格・物価高騰を受け、介護保険サービスの提供にかかる食材費・光熱費が上昇している一方で、介護報酬等の改定はなされておらず、利用者からの徴収にも制限がある中で、事業者の運営が逼迫していることを市としても認識しております。

今年度は市独自の支援として、「コロナ禍における物価高騰対策福祉施設等緊急支援事業」を実施させていただいております。

例えば居住系施設であれば1人1日当たり当初90円＋追加30円で合計120円ということで、食材費や光熱費の高騰全てをカバーすることは難しいものの、出来る限りの支援を行っているところです。

アンケートの結果から、人件費の増加も運営状況に大きな影響を与えていることを改めて確認いたしておりますが、令和4年10月からは介護職員の処遇改善のため、賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、収入を3%程度(月額9,000円)引き上げるための介護職員等ベースアップ等支援加算が導入されており、今後も神戸市でも介護人材確保プロジェクト「コウベ de カイゴ」として、人材確保だけでなく人材の定着・育成も目的として、様々な取り組みを推進してまいります。

長期化する物価高騰の影響に継続的に対応するためには介護報酬改定が必要であり、介護職員の処遇改善も進めながら、物価高騰の影響に伴う経営圧迫への対応も適切に進めていけるよう、国に対して適切な見直しを要望しております。今後も介護報酬設定の役割を担う国の動向を注視し、引き続き国に強く要望してまいりたいと考えております。

2 総合事業について

(回答)

訪問・通所介護事業所の現状を確認することができました。特に通所介護事業所では、運営に関する要件緩和へのご意見や、利用者に対しキャンセル時の振替や自宅で取り組むトレーニングメニューを提供するなど、介護予防に幅広く取り組んでいただけていることがわかりました。神戸市では、総合事業の評価・検証を行っており、これからの総合事業の見直しに向けて活用させていただきたいと思っております。

3 BCP策定状況について

(回答)

アンケート調査の結果より、現在策定作業中の事業所が多いとのが改めて確認できました。今年度、神戸市では「介護事業所向けBCP策定の手引き」を制作中でございますので、令和6年3月末までに策定出来るよう支援するため、年度内に公開させて頂く予定です。

策定作業中の事業所の参考として頂けるよう、また策定済みの事業所においても改訂のために役立てて頂けるような内容を目指しておりますので、ご活用いただければ幸いです。

4 その他・広報などについて

(回答)

本市では、介護人材確保プロジェクト「コウベ de カイゴ」の新たな取り組みとして令和4年度から、介護職種の魅力向上及び職員の確保を図るため、市内介護施設等で活躍するロールモデルとなるような介護職員のインタビュー記事等について発信するプロモーションサイトの開設、及びオンライン広告等を活用した広報を行ってまいります。

今後も、上記に加えて全市的な広報印刷物の見直しやホームページの見直しの方向性に沿って、介護保険関連の様々な印刷物やケアネットなどホームページについても見やすく改良してまいります。